



NU SKIN®

2023 SOCIAL IMPACT AND SUSTAINABILITY REPORT

2023年 ソーシャル インパクト & サステナビリティ レポート

A Message From The CEO

最高経営責任者からの メッセージ

Social Impact

ソーシャル インパクト

Sustainability

サステイナビリティ

Conclusion

最後に



ニュースキンの2023年ソーシャル インパクト & サステナビリティ レポートを公開いたします。ニュースキンが取り組んだ社会的責任とサステナビリティ推進における進捗および成果について概要をまとめています。

私たちはポジティブな社会的変化の創出や環境フットプリントの最小化に繋がる取り組みに重点を置き、2023年も引き続き世界の「Force for Good（人々がより豊かになるための力となる）」であるための活動に邁進しました。教育、医療、災害支援、経済開発といったさまざまな分野において、ブランドメンバー、社員、関連慈善団体を通じ、全世界で680万米ドルを超える寄付を行いました。これらの活動を通じ、心臓手術、保護活動、教育など、幅広い領域で世界中に支援を提供しています。特に事業の1つとして行っているナリッシュ ザ チルドレンプログラムでは、会員の皆様や社員が2023年だけで3,300万食を超えるビタミールを購入・寄付し、世界中で飢餓に苦しむ子どもたちへの支援を強力に後押ししています。

ソーシャル インパクトと並行し、ニュースキンはサステナビリティの面でも大きな躍進を遂げています。プラスチックは40トン、紙は12.5トンとそれぞれの使用量を削減。上海の最先端施設等では、革新的かつサステナブルな製造方法に引き続き投資しています。

サステナビリティに関しては、常に「地球」「人々」「製品」を中心に取り組みを展開。例えば、2030年までに、ニュースキンのすべての製品パッケージを回収可能、リサイクル可能、再利用可能、再生可能にする、または削減するという目標に向け、2023年も前進しました。

A MESSAGE FROM THE CEO 最高経営責任者からのメッセージ

ニュースキンのサステナブルな製品、ビジネスの素晴らしさ、ソーシャル インパクトおよびサステナビリティへの取り組みは高く評価され、2023年には20個もの賞を受賞しました。

本レポートを通じ、ニュースキンの活動の成果や将来に向けた取り組みについて理解を深めていただけると幸いです。社会や環境といった面で2023年中の数々の成果を振り返り、世界の「Force for Good」であるというレガシーを引き続き体現できたことを嬉しく思います。そして今後も、透明性とポジティブな影響力をもってリーダーシップを発揮していきます。

ニュースキン エンタープライズ 最高経営責任者 兼 社長
ライアン ナピアスキー

グローバルでの社会貢献活動

ニュースキンの倫理の基本は、世界の「Force for Good」になるというミッションです。

ニュースキン ビジネスを通じて、ブランド メンバー、社員、パートナー財団などと力を合わせ、より良い世界を造ることでミッションを達成することができるのです。

概略：

ニュースキンは2023年、ブランド メンバー、社員、チャリティパートナーと共に次のことを行いました。

全世界で

680万米ドル 以上を

寄付

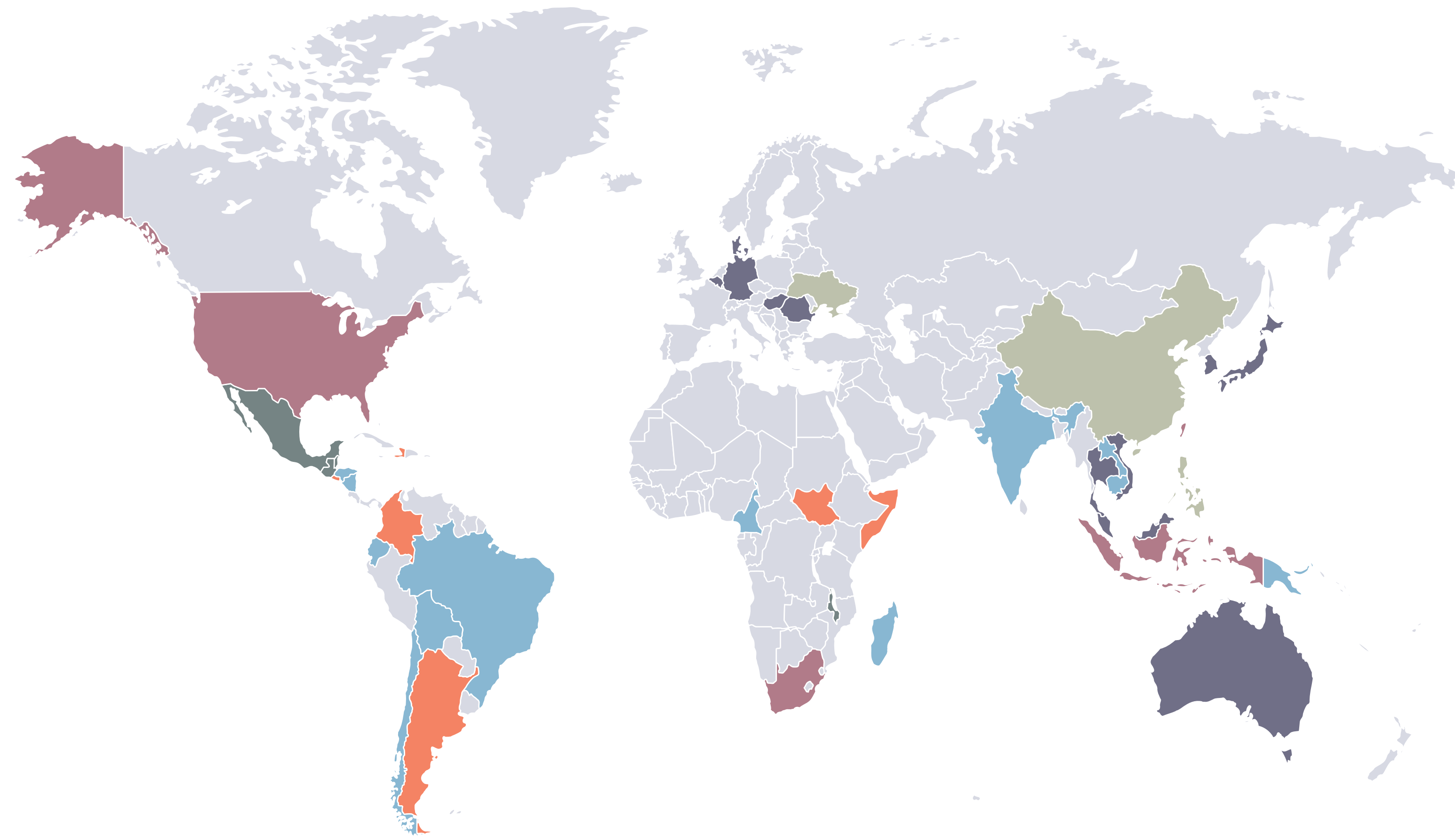
ナリッシュ ザ チルドレン プログラムを通じて

3,300万食以上の

ビタミールを購入・寄付

各マーケットで

チャリティ パートナー と提携



ナリッシュ ザ チルドレン (NTC)

■ ニュースキン フォース フォー グッド財団 (FFG財団)

■ コミュニティ アウトリーチ

FFG財団 + コミュニティ アウトリーチ

NTC + FFG財団

■ FFG財団、NTC、コミュニティアウトリーチ

A Message From The CEO

最高経営責任者からの
メッセージ

Social Impact
ソーシャル インパクト

Sustainability
サステイナビリティ

Conclusion
最後に

ナリッシュ ザ チルドレン

2002年、ニュースキンは世界中の子どもたちを栄養不良から救う取り組みとして、ナリッシュ ザ チルドレン プログラムを開始。会員や社員がビタミールを購入・寄付することで、支援を必要とする子どもたちに栄養食が届きます。ビタミールの購入8袋ごとに、ニュースキンは1袋を追加して寄付します。

2022年、ビタミールの購入・寄付がプログラム開始から累計で8億食を超えるというマイルストーンを達成しました。ご協力くださった会員、社員などすべての皆様に感謝いたします。ニュースキンは、さまざまな国や地域のチャリティ パートナーと提携し、世界中で寄付を行っています。2002年以来、皆様が購入・寄付してくださったビタミールは、65以上の国や地域に寄付されています。

※ニュースキンは、栄養補助食品とスキン ケア製品を販売している企業であり、ニュースキン エンタープライズ社は、ニューヨーク証券取引所に上場しています (NYSE:NUS)。ニュースキンのプログラムであるナリッシュ ザ チルドレンは、米国の複数の州で商業的な共同ベンチャーとして登録されています。このプログラムを通じて、ニュースキンのブランド メンバーやショッピング メンバーはニュースキンからビタミールを購入し、それを民間援助機関 (NPO: 非営利活動法人) に寄付することによって、「子どもたちを栄養不良から救う」という難しい世界的な課題に取り組むことができます。ビタミールの価格には、生産、一般管理、配送、販売にかかる費用が含まれています。ほかのニュースキン製品と同様に、ブランド メンバーには報酬が支払われ、ニュースキンはビタミールの販売から利益を得ています。

2023年に以下の国や地域の子どもたちがビタミールを受け取りました。



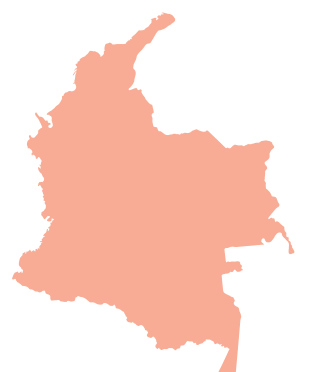
マラウイ
28,800,000 食



グレートー チャイナ
3,099,330 食



エルサルバドル
90,000 食



コロンビア
450,000 食



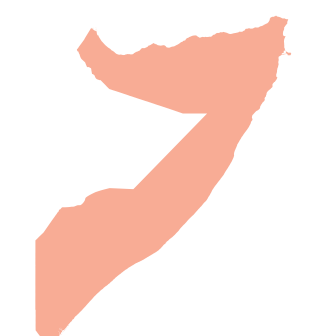
ハイチ
90,000 食



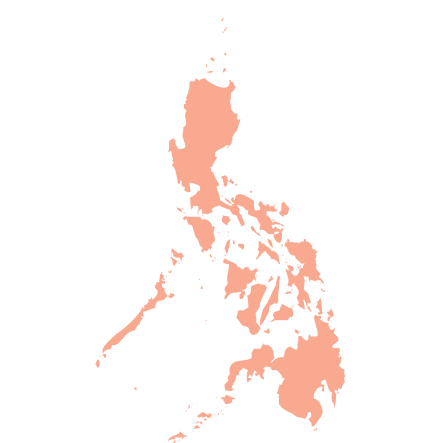
グアテマラ
90,000 食



アルゼンチン
252,000 食



ソマリア
360,000 食



フィリピン
90,000 食



ホンジュラス
90,000 食



メキシコ
180,000 食



ニカラグア
90,000 食



2023年の購入・寄付合計:
33,681,330 食

A Message From The CEO

最高経営責任者からの
メッセージ

Social Impact
ソーシャル インパクト

Sustainability
サステナビリティ

Conclusion
最後に

ビタミールの影響

主要なチャリティ パートナーの一つであるフィードザ チルドレン (FEED) は、米国国際開発庁の資金援助を受けているプログラム「アクレ ンディ タンジ」などを通じ、マラウイでのビタミール配給において大きな力になっています。このプログラムは栄養、農業、および保健介入を軸としており、ビタミールはその成功において重要な役割を果たしています。FEEDの報告によると、同プログラムを通じて対象グループの子どもの発育不全率が17%も低下しています。ビタミールの提供に伴い保育施設での出席率も改善しており、保育スタッフは、ビタミールで栄養を摂れるようになったことが良い影響をもたらしていると考えています。FEEDの取り組みは、栄養失調の撲滅に向けたパートナーシップによる確かな成果です。

ルンビ:

ルンビのストーリーは、この取り組みの影響力を強く物語っています。マラウイのビングラ村に住む6歳の少女ルンビ。彼女は栄養不足から学業に支障をきたしていました。ニュースキンはFEEDとのパートナーシップを通じて、彼女が通う学校にビタミールを届けました。すると彼女の健康状態と成績は飛躍的に改善。彼女が通う保育施設の子どもたちは空腹で元気がありませんでしたが、ビタミールが提供されたことで学習に意欲を持てるようになり、出席率が急上昇しました。このように、私たちは力を合わせることで大きな変化を生み出すことができるのです。



A Message From The CEO

最高経営責任者からの
メッセージ

Social Impact

ソーシャル インパクト

Sustainability

サステナビリティ

Conclusion

最後に



SOCIAL IMPACT ソーシャル インパクト

グローバル コミュニティ アウトリーチ

2023年時点で、ニュースキンは世界で約50のマーケットでビジネスを展開しています。世界をより良くすることに携わる素晴らしいブランド メンバーと社員に感謝しています。
ニュースキンは、ブランド メンバー、カスタマー、社員と共に、合計で約280万米ドルを世界各地の活動に寄付しました。2023年のコミュニティへの支援は、子どもたちの健康とウェルネスの改善に対する活動が中心です。

グレーター チャイナ チルドレンズ ハート基金および東南アジア チルドレンズ ハート基金

グレーター チャイナおよび東南アジア チルドレンズ ハート基金は、ニュースキン コミュニティにとって重要な活動を行っています。先天性心疾患で生まれた子どもたちを助けるための支援を行っており、必要なケアを受ける際に家族が直面する問題に対処するためのサポートを提供しています。
1999年以来、グレーター チャイナおよび東南アジア チルドレンズ ハート基金を通じて30,000件以上の手術が行われ、そのうち600件以上が2023年に行われました。

ユナイテッド ウェイ オブ ユタ カウンティ、リビング プラネット水族館、およびサンクスギビング ポイント

ニュースキンの全社員は、フォース フォー グッド エmployer プログラムに参加できます。同プログラムを通じて、隔週で給与から寄付を行うことで、ローカルと国際レベルで地域の子どもたちや家庭を支える力となります。社員がやりがいを感じ、それぞれの個性を発揮できる形でニュースキンのコミュニティ パートナーたちと繋がる機会を提供しています。
2023年、フォース フォー グッド エmployer プログラムは、ユナイテッド ウェイ オブ ユタ カウンティ、リビング プラネット水族館、サンクスギビング ポイントという3つのローカルの慈善団体と提携。ニュースキン フォース フォー グッド財団は同プログラムを通じ、これらの団体に合計20万ドルを超える寄付を行いました。

ニュースキンはユナイテッド ウェイとのパートナーシップを通じてサウス フランクリン コミュニティ センターで提供される25個のプログラムを支援、2,300人を超える人々が参加しました。同コミュニティ センターでは、子どもたちや家族が安心できる環境で読書や数学などのさまざまなクラスを提供しています。ユナイテッド ウェイの取り組みは、より健全で強固な地域社会の構築に向けた道づくりを後押ししています。

ニュースキンはサンクスギビング ポイントとのパートナーシップを通じて「エブリィ キッド カウンツ」プログラムを支援しています。同プログラムでは、WIC (女性・乳幼児向け栄養補助食品プログラム) またはSNAP (補助的栄養支援プログラム) の対象者であれば、サンクスギビング ポイントの提携施設を無料または割引料金で利用できます。95,000人を超える人々が同プログラムを利用して文化体験を楽しんでいます。ニュースキンはさらに、校外学習、STEMデイ (科学・技術・工学・数学を学ぶ日)、ガールズ フー コード、幼児向けクラスなど、さまざまなプログラムを支援しており、その利用者数は50,000人を超えているだけでなく、その内17,000人の学生は無料でこれらのプログラムを受けることができます。

ラブランド リビング プラネット水族館は、さまざまなプログラムを通じて地球の多様な生態系の保護に取り組んでいます。例えば、あらゆる年齢層へのユニークな学習体験の提供、学生への科学に対する興味を喚起する取り組み、学生が生涯学習者になれるようなサポートなどを目的として、幅広いスクールプログラムや地域支援プログラムを展開しています。

A Message From The CEO

最高経営責任者からの
メッセージ

Social Impact
ソーシャル インパクト

Sustainability
サステナビリティ

Conclusion
最後に

2023年その他のプロジェクトのハイライト：

- ニュースキンがユナイテッド ウェイ オブ ユタ カウンティに50,000ドルの寄付を行い、デイズ ファミリーマーケットと連携し、ユタ州で支援を必要としている家庭に1,000食を超える食事を用意しました。
- ニュースキンは東ヨーロッパで難民キャンプを離れる家庭を支援するため、250,000個の製品をコンボイ オブ ホープに寄付しました。

フォース フォー グッド デイ

年に一度、ニュースキンは全社員に「Force for Good」になるため、ボランティア活動を一日行う日を奨励しています。ニュースキンが組織したボランティアの機会を通じて、地域社会に変化をもたらすために世界中の社員が活動しました。

2023年の成果：

- ニュースキンのブランド メンバー、社員、その家族や友人など、4,000人を超える人々が各自のコミュニティでボランティア活動を行いました。
- 各種プロジェクトを通じて5,000個を超える物品を寄付しました。
- この活動は世界中の人々にポジティブな影響を与えています。

SOCIAL IMPACT ソーシャル インパクト

フォース フォー グッド デイには世界各地で以下の活動などが行われました：

米国本社：

フォースフォー グッド デイの活動として、病院で手術を受けたり、病気と闘ったりする子どもたちにサポートと優しい気持ちを届けました。ニュースキンの社員とその家族は、1,000人分の入院している子どもたちに役立つキットを作成しました。ニュースキンは、スティッチング ハーツ ワールドワイドおよびモバイル サージェリー インターナショナルと提携し、人生を変える手術から回復した子どもたちを世界中でサポートするキットを届けました。

ニュースキンヨーロッパおよびアフリカ：

地区全体で、ニュースキンのブランド メンバーと社員がさまざまなプロジェクトに参加しました。プロジェクトには、難民キャンプの子どもたちを支援するキットの作成、国際的な児童養護施設の維持管理のサポート、孤児や恵まれない子どもたちが冬を乗り切するためのセットの作成などが含まれます。

ニュースキンジャパン：

「Force for Good」を実現するためにフードドライブを実施しました。ブランド メンバーやショッピング メンバー、社員から寄付された1,200個以上の食品を、セカンドハーベスト・ジャパンを通じて各地域のフードバンク利用者、子どもたち、ひとり親家庭など、食べ物を必要とする人々に届けました。

ニュースキン韓国：

ワールド ビジョンと提携し、低所得世帯に寄付する特別ミールキットをつくりました。また、社会福祉センターではブランド メンバーや社員がボランティア活動を行い、約500人の支援を必要とする人々に食事を提供しました。

ニュースキン東南アジア：

東南アジア チルドレンズ ハート基金を通じて、東南アジア全域で心疾患をもつ子どもたちを支援しています。ブランド メンバーと社員は、心疾患と診断された子どもたちへの関心を高めるプログラムや募金活動にボランティアとして参加しました。

A Message From The CEO
最高経営責任者からの
メッセージ

Social Impact
ソーシャル インパクト

Sustainability
サステナビリティ

Conclusion
最後に



SOCIAL IMPACT ソーシャル インパクト

ニュースキン フォース フォー グッド財団

ニュースキン フォース フォー グッド財団は、ニュースキン
のブランド メンバー、社員、友人たちが世界の子ども
たちの生活を改善するため、1998年に設立されまし
た。

2023年、米国本社のニュースキン フォース フォー グッ
ド財団は、合計340万米ドル以上を寄付。世界中の子
どもたちの健康とウェルネスの向上に注力しました。

ニュースキン フォース フォー グッド財団には、中国本
土、香港、台湾に3つの姉妹財団があり、他の国や地域
のニュースキン ファミリーに「Force for Good」になる
機会を与えています。2023年は共同で合計390万米ドル
以上の寄付が寄せられました。

ニュースキン フォース フォー グッド財団は、2024年も
引き続き世界中の子どもたちの健康とウェルネスの促
進に取り組み、より大きなインパクトをもたらすよう、
よりスマートかつ影響力のあるパートナーシップを模
索しています。

このセクションでは、ニュースキン フォース フォー グッ
ド財団の長期的パートナーならびに2023年に資金提
供を受けたプロジェクトの一部概要をご紹介します。
詳しくはニュースキン フォース フォー グッド財団の
Webサイトをご覧ください。

A Message From The CEO

最高経営責任者からの
メッセージ

Social Impact

ソーシャル インパクト

Sustainability

サステナビリティ

Conclusion

最後に

シーコロジー

ニュースキン フォース フォー グッド財団はシーコロジーと提携し、経済や環境保全の問題に独自の解決策で取り組んでいます。エスネピック シリーズ全製品に対して、ニュースキンは1製品の購入ごとに25セントをニュースキン フォース フォー グッド財団に寄付し、その一部はシーコロジーへの支援に使用されています。

シーコロジーは、地元の島民とのパートナーシップを通じて海洋生息地の保護を支援しています。生息地の保護と引き換えに、シーコロジーが学校、コミュニティ センター、水道システム、診療所を建設し、島のコミュニティと子どもたちの生活を改善。

25年以上にわたり、約140万エーカーの海洋生息地の保護を支援したと報告しています。

ニュースキン フォース フォー グッド財団の資金援助により、2023年はフィジー、インドネシア、タイ、ミクロネシア連邦、マダガスカル、フィリピン、米国など、世界中で7つのプロジェクトが行われました。



2023年の各種プロジェクト:

フィジー ラビ島ウマ村:

1,230エーカーの原生林の保護(15年間)と4エーカーのマングローブの植林の実施と引き換えに、新たな公民館／幼稚園の建設と小型の歴史的建造物の修復を支援。

インドネシア メダンマス:

25エーカーのマングローブの植え直しと450エーカーのパトロールと引き換えに、環境教育と生活訓練を目的とする湾岸学習センターの建設を支援。

タイバンバグニャイ村:

サンゴ礁と450エーカーの海草を含む3,700エーカーの海域保護の10年間実施と引き換えに、青年環境センターの建設を支援。

ミクロネシア連邦コスラエ島ワルング:

2つの海洋保護区(合計207エーカー)の永続的保護と引き換えに、地域青年センターの修復を支援。

マダガスカル エコビジョン村:

74エーカーの緑の回廊の保護と植え直しの30年間実施と引き換えに、小学校(用品およびトイレ含む)の建設を支援。

フィリピン マングローブ:

環境教育ならびにマングローブの保護と復元と引き換えに、青年のためのスポーツ用品とトレーニングの提供を支援。

米国スシア島:

0.12エーカーの在来アマモの植え直しと引き換えに、アマモに関する教育と長期的復元を通じた先住民族の青年の受け入れを支援。

※100エーカー＝0.4平方キロメートル。



SAFI (家族の自立を支援する農業学校*)

2007年以来、ニュースキンはSAFIと提携し、マラウイの農村部に住む人々の生活を豊かにしています。SAFIは、生活水準を向上させる知識、スキル、リソースを家族に提供することに取り組んでいます。

*スクール オブ アグリカルチャー フォー ファミリー インディペンデンスの略。

SAFIはマラウイ全土の農家が自給自足できるように、農作物の収量改善や地域全体の食糧不安に対処するための農業教育支援を行っています。トレーニングは家族単位で取り組み、生産性を高めるための知識や技術を2年間学びます。農業教育プログラムの評価や見直しにより、卒業生はより自立した生活ができることが明らかになりました。2007年のパートナーシップ以来、597世帯がこの教育を受けています。

2013年より、SAFIはエクステンション プログラムとして、マラウイ全土のコミュニティで農業指導員となる農家を選定、教育する支援活動を拡大しました。より多くの個人や家族に対し生産性を高める知識や技術を提供するために、農業指導員を育成します。2023年には203人が新たに加わり、計10,188人の農民が教育を受け、コミュニティにSAFIのノウハウを広めるために取り組んでいます。

教育を受けた農業指導員は、隣人への研修を手助けしています。SAFIによると、2023年は、農業指導員がそれぞれのコミュニティでさらに平均44世帯に研修を行っています。

SAFIは生徒に総合的な教育を提供することを大切にし、農業ビジネスから男女平等まで幅広いテーマについて教育を行っています。また、教育や採用における男女平等を大切にしています。2023年に教育を受けた農業指導員の43.8%は女性でした。

2023年、農業指導員となる農家の育成に加え、各家庭に対して家庭菜園や優れた農業手法についての教育、エネルギー効率のよい料理用薪ストーブの導入などのサポートにも力を入れました。

ウェルズ オブ ホープ (希望の井戸)

ニュースキン フォース フォー グッド財団は、2016年よりマラウイ全土の村の水不足解消に取り組んできました。現在までに、SAFIはウェルズ オブ ホーププログラムを通じ、またはニュースキン フォース フォー グッド財団の支援を受け、179の井戸を掘削。2023年は、10の井戸を掘削しました。ウェルズ オブ ホープは、これらの井戸が18,000世帯以上に影響を与えていると推定しています。



A Message From The CEO

最高経営責任者からの
メッセージ

Social Impact
ソーシャル インパクト

Sustainability
サステナビリティ

Conclusion
最後に

A Message From The CEO

最高経営責任者からの
メッセージ

Social Impact

ソーシャル インパクト

Sustainability

サステナビリティ

Conclusion

最後に

表皮水疱症 医療研究財団（EBMRF）

ニュースキンは1996年に初めて、社会的問題の解決を支援する製品を発売しました。その一つがエポック グレーシャル マリン マッドです。同製品購入1個ごとに、25セントがニュースキン フォース フォー グッド財団から表皮水疱症 医療研究財団（EBMRF）に寄付されます。表皮水疱症は遺伝性の皮膚病で、体の広い範囲にわたって水ぶくれや傷が生じます。

EBMRFはニュースキンからの寄付等を活用し、スタンフォード大学や米国内のその他の大学での多数の研究や臨床プログラムに対し、エンジェル投資（スタートアップ企業への出資）やつなぎ融資の提供を支援しています。

2023年の特に大きな進歩としては、EBMRFからの資金提供とピーター マリンコビッチ博士の協力を受け、クリスタル バイオテック社による栄養障害性表皮水疱症（DEB）のB-Vec（ヴィジュヴェック）治療がFDAに承認されました。これはDEBの治療としてはFDAが初めて承認した再投与可能な遺伝子治療となり、米国全土の家庭で利用できるようになります。



SOCIAL IMPACT ソーシャル インパクト

モバイル サージェリー インターナショナル

2023年中に南北アメリカからニュースキン フォース フォー グッド財団に寄せられた寄付は、メキシコ全土で口唇口蓋裂治療プログラムを提供しているモバイル サージェリー インターナショナル（MSI）に充てられました。MSIは、患者が家庭や社会に完全に復帰できるよう総合的な口唇口蓋裂治療を提供。健康評価、診断、手術、歯科治療、歯列矯正治療、言語療法、心理カウンセリング、耳・鼻・喉に関する相談、栄養サポート、授乳教育、交通、住居、および継続的なフォローアップとサポートが含まれます。

2023年、ニュースキンおよびニュースキン フォース フォー グッド財団は35万ドルを超える寄付をMSIに提供しました。これらの寄付により、MSIはその活動範囲を拡大し、治療モデルを強化。2023年に計1,500回の手術を完了し、MSIの総合治療モデルには現在750名を超える人々が登録しています。



A Message From The CEO

最高経営責任者からの
メッセージ

Social Impact

ソーシャル インパクト

Sustainability

サステナビリティ

Conclusion

最後に

MCE ソーシャル キャピタル

2023年、ニュースキン フォース フォー グッド財団は、資本を投資することで貧困家庭がより良い未来を築くための支援をミッションとする非営利会社であるMCEソーシャル キャピタルに対し、15万ドルを寄付しました。

MCEはニュースキン フォース フォー グッド財団からの寄付を活用し、ブラジルのナッツ輸出業者やメキシコのマイクロファイナンス機関など、中南米全域で5団体の対象プロジェクトを支援しました。

MCEは「私たちの目的は、女性と環境を中心に持続可能な暮らしの創出に取り組む企業に対して柔軟かつ適切な融資を提供することです。それにより企業が拡大し、それぞれの顧客、従業員、および地域に対してより良いサービスや環境を提供しながら、持続可能かつ包括的な経済成長を生み出せるようになることを期待しています」と述べています。

災害支援

ニュースキン フォース フォー グッド財団は被災した人々の苦しみを和らげるため、災害支援のために資金の一部を割り当てています。2023年は以下の災害への支援を行いました。

トルコ・シリア地震へのユニセフの対応を後押しするために、米国ユニセフを支援しました。ユニセフは、緊急物資の配送、栄養や安全な飲料水の提供、家族から引き離された子どもたちを特定し家族と再会させるためのサポートなど、トルコとシリアの子どもたちの切実なニーズに対応しています。

アメリカ赤十字社とマウイ ストロング基金はハワイ コミュニティ財団を通じ、山火事によって甚大な被害を受けたマウイの救援活動を支援しました。

SOCIAL IMPACT ソーシャル インパクト



A Message From The CEO

最高経営責任者からの
メッセージ

Social Impact
ソーシャル インパクト

Sustainability
サステナビリティ

Conclusion
最後に

製品のサステナビリティ

製品コミットメント

2019年に発表した製品ポートフォリオの環境への影響に関するコミットメント(公約)の進捗状況をご報告します。

2019年 – 完了
ニュースキン製品を評価するための環境影響スコアリングシステムを作成。

2020年 – 完了
コミットメントを発表した2019年のトップ20製品の環境影響スコアを評価、スコア化、改善。

2023年 – 完了
全製品の環境影響スコアの評価、スコア化、改善するための計画を立案。

2030年：順調に進行中
全パッケージを、回収可能、リサイクル可能、再利用可能、再生可能、または削減する予定。

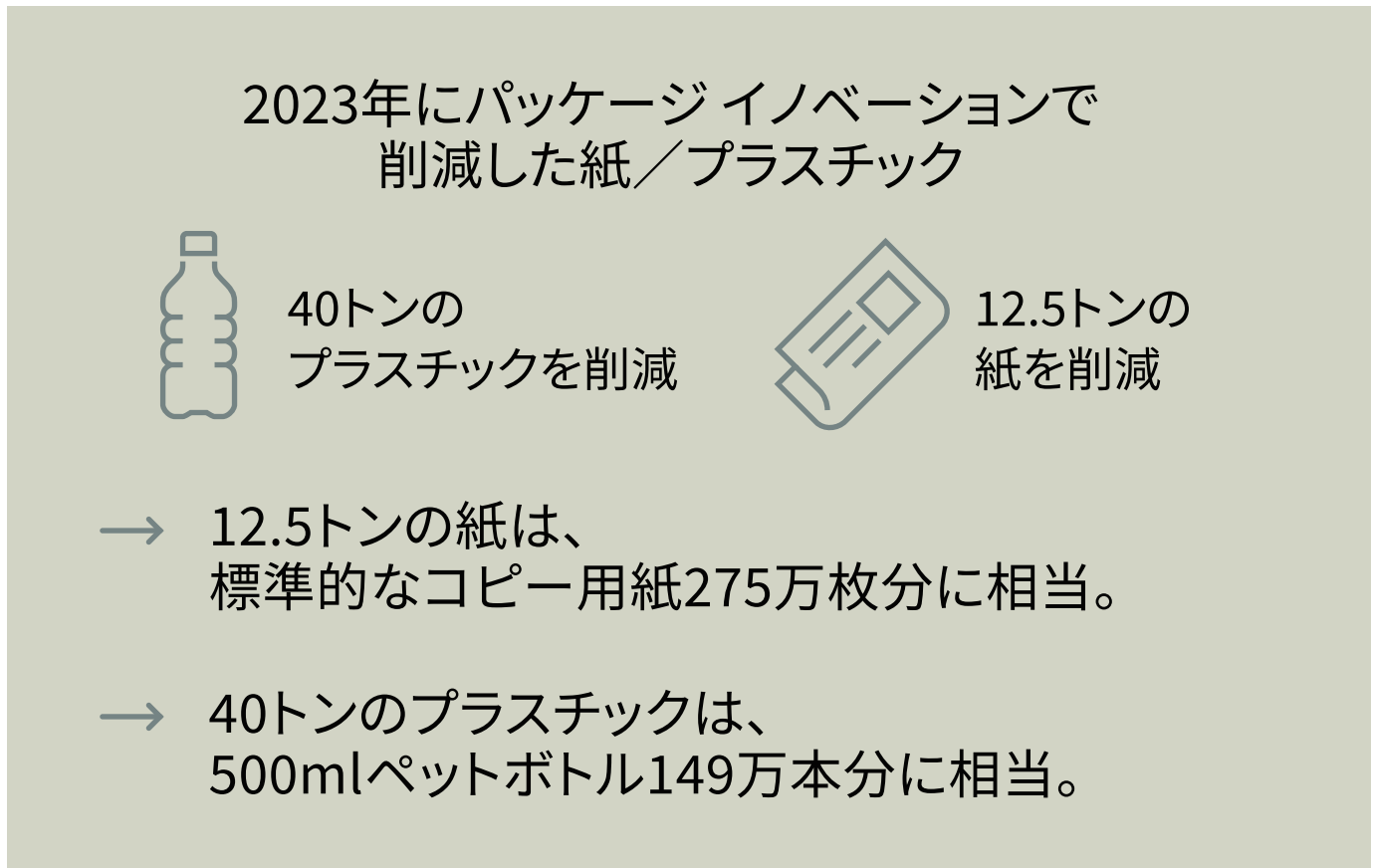
環境に配慮した製品パッケージ

ニュースキン製品のパッケージが環境に与える影響について理解を深めるため、2019年に独自の環境影響スコアリング システムを構築。2030年までに全パッケージを回収可能、リサイクル可能、再利用可能、再生可能、または削減するという目標の達成に向けて、素材の種類、カーボンフットプリント、リサイクル材の使用などの要因を考慮することで、パッケージの改善や地球に与える影響について、情報に基づいた判断を行うのに役立ちます。2023年には、同システムで新たに30以上の製品の評価、改善計画策定、改善実施を行いました。今後もよりサステナブルな未来へ向けて、より幅広い製品群に適用していきます。

SUSTAINABILITY サステナビリティ

製品パッケージ 環境に配慮したパッケージ

2030年までにニュースキン製品の全パッケージを回収可能、リサイクル可能、再利用可能、再生可能、または削減するというコミットメントを達成することに全力を尽くしています。



私たちは2019年に、環境影響スコアリング システムの最初のバージョンを完成させました。それ以来、環境に配慮したパッケージの基準を世界レベルで取り入れています。

リサイクルド、リサイクラブル、リユーザブル、リデュースド、リニューアブルからなる5R(ファイブアール)*に沿ってパッケージ イノベーションに優先順位を付けながら進めることが基本原則の一つです。

樹脂PCR(ポスト コンシューマー レジン)や再生プラスチックなど、より多くの再生可能材料を取り入れています。透明性と知識が変化の鍵であると信じて、米国本社Webページ「Recycle Right(正しいリサイクル)」を通じて正しい知識を多くの人々に広めるよう努めています。全製品のパッケージの簡素化を追求する中で、目標に向けた進捗を引き続きお伝えしていきます。

参照：エコビューティースコア コンソーシアム セクション

*米国本社がフォーカスする5R(ファイブアール)とは、リサイクルド(Recycled)、リサイクラブル(Recyclable)、リユーザブル(Reusable)、リデュースド(Reduced)、リニューアブル(Renewable)の5つのR(アール)の総称です。

エコビューティースコア コンソーシアム

2022年、ニュースキンは、化粧品による環境への影響を評価・採点するシステムの開発を目的とするエコビューティースコア コンソーシアムに加盟しました。現在、化粧品業界の70を超えるステークホルダーで構成され、消費者がより情報に基づきサステナブルな選択ができるようになる画期的な取り組みだと考えています。

同コンソーシアムは、ライフサイクル分析を用いて製品環境フットプリントを完全に把握するためのシステムを継続的に発展させています。そして、製品のサステナビリティを消費者に発信するニュースキンの取り組みの深化に役立っています。

サステナブル デバイス基準

ニュースキンは2023年にサステナブル デバイス基準を策定・施行しました。受賞歴のあるニュースキンの各種デバイスを引き続き改良していく取り組みの一環として、社会と環境の改善を推進するための達成基準を4つのカテゴリーで決めました。4つのカテゴリーは「エネルギー効率および電力効率」、「壊れにくい設計または修理可能な設計」、「サステナブルな素材および製造」、そして「サステナブルなパッケージ」です。これらの基準は「デザイン」、「製造」、「使用」、「廃棄」というライフサイクル全体において各デバイスがサステナビリティに与える影響を改善するための指針となります。デバイスは必ずしもすべての基準を満たすというわけではありませんが、各カテゴリーの基準を満たした製品をブランド メンバーが自信をもって使用・推奨できることを目指しています。

環境に対する責任

サプライチェーン、製品、グローバル施設で地球の資源を責任をもって使用方法を常に模索しています。目標に向かって大きく進歩していますが、やるべきことはまだまだあると理解しています。コミットメントを達成し、イノベーションを起こすことを目指し、環境への取り組みを強化するための方針とプログラムを構築、実践していきます。

A Message From The CEO

最高経営責任者からの
メッセージ

Social Impact

ソーシャル インパクト

Sustainability

サスティナビリティ

Conclusion

最後に



受賞実績 アワード

A Message From The CEO

最高経営責任者からの
メッセージ

Social Impact
ソーシャル インパクト

Sustainability
サステナビリティ

Conclusion
最後に



ニュースキン CSR
企業の社会的責任(CSR) 部門
2023 コミュニタス アワード



ニュースキン CSR
コーポレート シチズンシップ 受賞
2023 インターナショナル CSR エクセレンス アワード



ニュースキン
ベスト米国ビューティー アワード 金賞
2023 グローバル メイクアップ アワード



ニュースキン CSR
CSR プログラム オブ ザ イヤー 銀賞
2023 ベストインビズ アワード
インターナショナル部門



ニュースキン
ベスト アジア ビューティー ブランド
2023 グローバル メイクアップ アワード
ベストインビズ アワード



ニュースキン
100 カンパニーズ チャンピオニング ウィメン
(女性を支持する企業100社)
ユタ ガバナーズ オフィス オブ エコノミック
オポチュニティ(ユタ州知事経済機会室)



ニユースキンは環境および社会への影響において、革新を追求し続けています。ニユースキン ビジネスのあらゆる面で、サステナビリティを意識し、実行することが成功を維持する鍵となります。地球を守り、人々を支援するためにコミットメントを強化、目標を設定、プログラムを開発し続けます。ニユースキンのブランド メンバー、社員、サプライヤーそしてビジネスを展開しているグローバル コミュニティにとってより良い明日を確実にするために、これからも企業の社会的責任を果たしていきます。



A Message From The CEO
最高経営責任者からの
メッセージ

Social Impact
ソーシャル インパクト

Sustainability
サステナビリティ

Conclusion
最後に

